

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 6年 2月 5日

公表: 令和 6年 2月 20日

事業所名 チャイルドデイケアほわわ名古屋ヶ丘

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3			
	2	職員の配置数は適切である	3		・利用者に応じて必要な人数配置がされている	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3		・エレベーターやスロープ、子供用トイレ、手洗いの設置がされている	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3		・振り返りと目標設定は毎日行い、課題に感じた点に関しては日々改善を検討している ・業務について課題を感じた場合は、職員間で共有し会議で検討している	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3		・法人HPIにて公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		3		・第三者機関の設置がない ・外部からの評価機会が設けられるとよい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3		・法人から社内外の研修が案内されており、参加している	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3		・日々のコミュニケーションと面談にてご家族のニーズ把握につとめている ・発達について学びを続けながらアセスメントの上で計画作成を行っている	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3		・保育士をメインに看護師や指導員と相談しながら行っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3		・固定化しないように努力している。おでかけや季節ならではの活動を取り入れている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	2		・利用頻度が長期休み中の年に数回にとどまっており、細やかな設定までできていない
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2	1		・児童発達支援の利用者が多く放課後等デイサービス利用者が1名という状況で、発達段階に大きな差があり集団活動の展開が難しく、年長者として下の子に関わる形になった
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3		・毎朝支援前に打ち合わせを行い、その日のスケジュール確認を行っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3		・毎日支援後に振り返りを行い、非常勤も含めた支援者に共有を行っている ・日々の支援に気になることがあれば職員間でその都度相談して支援の検討を行っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3		・利用記録に残している	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3		・定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の作成を行っている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	1		・今年度は担当者会議が開かれなかった
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	2	1		・今年度は利用児が1名のみであり、利用頻度も年に数回にとどまっているため学校の様子は保護者への聞き取りにとどまっている。定期利用児がいれば積極的に情報共有を行いたい
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3		・主治医や訪問医との連絡体制を築いている。 ・月に一度嘱託医と会議を行っており、利用者に関する情報共有と相談をしている	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	2		・該当児が3年生のため就学前の事業所と現在は連絡がとれていない
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	2	・該当児がいれば移行時には発達状況や事業所での様子がわかる引き継ぎ資料を作成し、情報共有を図ることになっている	・今年度は該当児がいなかった
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	2		・積極的な連携の機会がもてていない。連携を図ってきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	1	・支援者のこどもたちと交流機会がある	・利用頻度が少ないこと、ご本人が初めての場所では緊張してしまうこともあり、積極的に機会を作ることを行わなかった
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			3	・業務の都合上年に数回の参加にとどまっており、積極的に参加ができていない。 ・情報収集にもつながるので改善してきたい。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3			・日々の引継ぎや電話等の連絡手段を使って状況の共有は丁寧にこなしている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	1	・法人として研修の案内をご家族にも行った	・日々のコミュニケーションの中での助言等にとどまっており、プログラムとしては確立していない	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3		・日々の引継ぎの中で都度聞き取りを行い、悩み事がある際には内容について情報収集し、早くお応えできるように努めている ・必要に応じて電話や面談の設定を行い、時間をかけて話を聞きとる機会を作っている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3		・父母会活動という形ではなく、テーマに沿って保護者会を行ったり、イベント時に交流ができるような機会を設けている	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3		・相談や申し入れがあった際には早急に対応するように努めている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3		・月に一度会報を発行している	
	35	個人情報に十分注意している	3		・個人情報の取り扱いについて、毎年同意書で確認を行い、同意を得ている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3		・ハロウィンイベントや音楽会で交流機会を設けている	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急変対応については契約時に作成し、年二回保護者と見直しを行っている</li> <li>・感染症マニュアルを策定しており、必要に応じて見直しが行われている</li> </ul>	・防犯マニュアルは未策定のため取組みたい
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に一度避難訓練を行っており、年に一度は消防署の協力を得て訓練を実施している</li> </ul>	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師を招いた虐待防止研修を実施し、参加できなかった支援者にも資料等を用いて共有をおこなった</li> </ul>	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画に記載し、保護者に説明をしている</li> </ul>	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・該当児について支援者全員に周知し、食器やスポンジの共用を避け、物品管理に気を付けている</li> </ul>	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故発生時には速やかに報告書に記載し二度目が起こらないよう対策している</li> <li>・報告書は管理者及び非常勤も含めた支援者にも必ず共有している</li> <li>・過去の事故報告書やヒヤリハット集をいつでも閲覧できるようにしている</li> </ul>		